

第4学年 外国語活動学習指導略案

1 組 計 44 人
 指導者 HRT 中尾 ともよ
 AEA ユー ジミー

1 単 元 「ミッション！『山下小ツアー』でお気に入りの場所をしようかいせよ！」
 (Let's Try! 2 Unit 8 「This is my favorite place.」～お気に入りの場所をしようかいしよう～)

2 単元の目標

◎ 自分のお気に入りの場所を知ってもらったり、相手のお気に入りの場所をよく知ったりするために、相手のお気に入りの場所に行くための具体的な情報（道案内）を聞きとったり、自分のお気に入りの場所やその理由を伝え合ったりできる。

○ 紹介例

C: Go, straight. Turn right. Go, straight. Turn left. This is my favorite place.

A: Your favorite place is the music room?

C: Yes, I like music.

3 単元で育成を目指す「未来の創り手に求められる資質・能力」

問題発見力	自分の考えや気持ちを伝えるための「自分の問い」をもつ力
判断・形成力	お気に入りの場所やその理由を伝えるために、「I like ~.」や「This is ~.」の表現に物や教科名の言い方を組み合わせて伝える内容を形成する力
協働力	友達との対話を通して互いの表現のよさに気付いたり、道案内をしながらお気に入りの場所について分かりやすく伝えるために、協力して表現を工夫したりする力
表現力	声の大きさや動作を工夫したり、うなずくなどの反応を返したりしながら、道案内をしたり、自分のお気に入りの場所について伝え合ったりする力

4 指導・評価計画（全4時間）

観(測)	主な学習活動 [活用する英語表現]	学びの価値を見いだす子供の反応	主な教師の手立てと重点評価項目[◆]
意欲をもつ (1)	1 単元のゴールを知り、「自分の問い」をもつ。また、課題を解決するための学習計画を確認する。 【「自分の問い」づくりタイム】 ◎ 「ミッション！『山下小ツアー』で自分のお気に入りの場所をしようかいせよ！」	ALT の先生に〇〇室について英語で伝えてみたい。	◎ ツアーガイドになって ALT の先生に自分のお気に入りの場所を紹介するという単元のゴールを提示することで、英語で学校を案内できるようになりたいという思いを高めることができるようにする。
楽しむ (2)	・ 道案内の表現と教室名の言い方を知る。 [Go straight.] [Turn right/left.] 2 道案内の表現と教室名の言い方に慣れ親しむ。また、紹介したいお気に入りの場所を撮影する。 [This is ~.] [I like ~.] 【「自分の問い」追究タイム】 3 自分のお気に入りの場所を友達と紹介し合う。【本時】 [Go straight.] [Turn right/left.] [Stop.] [This is ~.] [I like ~.] [Do you like ~?]	すらすら話せるようになるために、道案内の表現と教室の言い方をもっと練習したいな。 “Good!”などの表現を使って反応を返したり、“Do you like ~?”を使って好きかどうかを尋ねたりしたら楽しくやり取りすることができたよ。	◎ 道案内の表現の仕方や教室名の言い方について、タブレット PC のコンテンツの中から、自分に必要なものを選んで活動することで、身に付けたそれらの表現を、自信をもって伝えることができるようにする。 ◆ 道案内の表現や教室名を聞いたり言ったりしながら活動している。 【知識・技能:やり取り】
振り返る (1)	4 「山下小ツアー」を行い、ALT の先生に自分のお気に入りの場所を紹介する。 [Go straight.] [Turn right/left.] [Stop.] [This is ~.] [I like ~.] [Do you like ~?]	ALT の先生にお気に入りの場所を紹介することができたよ。もし、外国の方に道を尋ねられたら英語で教えてあげたいな。	◆ 道案内の表現を使って自分のお気に入りの場所に案内したり、その理由について工夫しながら伝え合ったりしている。 【思考・判断・表現:やり取り】 ◆ 相手の理解を確認しながら道案内をしたり、紹介したい場所について伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度:やり取り, 「My Goal カード」】 ◎ ALT から感想をもらったり、「My Goal カード」や蓄積した動画を振り返ったりすることで、自己の成長に気付くことができるようにする。

7 本時 (3/4)

(1) 目標

道案内をしてお気に入りの場所を紹介したり, “I like ~.” などの表現を使ってその理由を伝え合ったりすることができる。

(2) 展開

□ 教師の言葉掛け [] 子供の反応 [◆] 重点評価項目

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	主な教師の手立て	
<p>意欲をもつ (10)</p>	<p>1 「Small Talk」を行い, 本時のめあてを確認する。 【「自分の問い」づくりタイム】</p> <p>H: Turn left. Go straight. Go up stairs to 4th floor. Turn left. This is my favorite place. A: Your favorite place is the music room? H: Yes. My favorite place is the music room. Because I like music. I like pianos. (※ピアノを指差しながら)</p> <p>A: Nice.</p> <p>道案内をして, お気に入りの場所やその理由を友達としようかいし合おう。</p>	<p>㊟ 「Small Talk」を行うことで, 友達とお気に入りの場所やその理由を伝え合うという本時の活動の目的や場面, 状況等を理解することができるようにする。また, 「自分でもできそうだ。」という思いをもたせ, コミュニケーションのポイントや表現面から「自分の問い」をもつことができるようにする。</p>	<p>必要性</p>
<p>楽しむ (25)</p>	<p>2 「Word Adventure Time」を行う。 【「自分の問い」追究タイム】</p> <p>(1) 本時で活用する表現を全体で確認する。 道案内をしてお気に入りの場所を紹介するために, どんな表現を使いますか。</p> <p>“Go straight.” や “Turn right/left.” の表現を使って道案内をすることができるよ。 “I like ~.” の表現を使ってどうしてお気に入りなのか, その理由を伝えることができたよ。</p> <p>(2) 個人で紹介の仕方を確認する。</p> <p>3 「Activity①」を行う。</p> <p>4 「1-up Time」を行う。 【「自分の問い」交流タイム】</p> <p>(1) 「Activity①」における互いのよさを全体で共有したり, 生じた課題を解決したりする。</p> <p>(2) HRT と AEA のモデルスキットを見る。 H: This is my favorite place. A: Your favorite place is the music room? H: Yes. My favorite place is the music room. Because I like music. Do you like music? A: Yes, I do. H: Good! I like pianos. Do you like pianos? A: Yes, I do. But, I can't play the piano.</p>	<p>㊟ 「Word Adventure Time」では「Small Talk」を想起することで, 道案内やお気に入りの場所を紹介するのに使えるような表現を全体で確認することができるようにする。また, 個人でタブレット PC を用いて表現の練習をしたり, HRT や AEA とやり取りの確認をしたりすることで, 自信をもって「Activity」を行うことができるようにする。</p> <p>㊟ 事前に撮影していた画像を見せながらお気に入りの場所を紹介することで, これまでに学習した“This is ~.”などの表現に知っている言葉を組み合わせることでその場所について詳しく説明することができるようにする。</p> <p>㊟ 「1-up Time」では, 「Activity①」で上手く伝えられたことや効果的だった表現, 表現方法等を全体で共有したり, 生じた課題を解決したりすることで, 「Activity②」において自分の表現に生かすことができるようにする。</p>	<p>自律性</p> <p>関係性</p>
<p>振り返る (10)</p>	<p>5 「1-up Time」で共有したことを生かし, 「Activity②」を行う。</p> <p>6 本時の学習について振り返る。 【「自分の問い」振り返りタイム】</p> <p>今日の学習でどんなことができるようになりましたか。</p> <p>前よりもすらすら言えるようになったよ。ALT の先生にも上手に紹介できそうだよ。</p> <p>相手に質問しながらお気に入りの場所を紹介することができたよ。</p>	<p>◆ “Go straight.” や “Turn right/left.” の表現を使って道案内をしたり, “This is ~.” や “I like ~.” などの表現を使ってお気に入りの場所や, その理由を伝えようとしていたりしている。 【思考・判断・表現: やり取り】</p> <p>㊟ 「My Goal カード」にできるようになったことや効果的だった表現, 「もっと～したい。」という願いや今後の課題等を記入することで, 次の『山下小ツアー』への意欲を高めることができるようにする。</p>	<p>有用性</p>

第4学年 外国語活動 授業デザインシート（単元）

- 1 単元 「ミッション！『山下小ツアー』でお気に入りの場所をしようかいせよ！」
 (Let's Try! 2 Unit 8 「This is my favorite place.」 ～お気に入りの場所をしようかいしよう～)

2 本単元で育成を目指す資質・能力

問題発見力	自分の考えや気持ちを伝えるための「自分の問い」をもつ力
判断・形成力	お気に入りの場所やその理由を伝えるために，“I like ~.” や“This is ~.”の表現に物や教科名の言い方を組み合わせて伝える内容を形成する力
協働力	友達との対話を通して互いの表現のよさに気付いたり，道案内をしながらお気に入りの場所について分かりやすく伝えるために，協力して表現を工夫したりする力
表現力	声の大きさや動作を工夫したり，うなづくなどの反応を返したりしながら，道案内をしたり，自分のお気に入りの場所について伝え合ったりする力

3 本単元で活用が期待される言語材料

Unit 8	既出
<ul style="list-style-type: none"> • Go straight. • Turn right/left. • Stop. • This is my favorite place. • Why? 	<ul style="list-style-type: none"> • This is ~. • I like ~. • That's right. • Do you like ~? Yes, I do./No, I don't. • I don't like ~. • What do you like? • What ~ do you like? • Hint, please. • What's this? • It's ~. • Let's ~. • How about you? • Look. • Try again.

4 本単元の授業デザイン

本単元で育成を目指す資質・能力と特に関わりのある学習活動において，以下のような手立てを行い，その有効性を検証しながら授業をデザインすることにした。

	教師の手立て	時	子供の反応	表現活動の実際	改善策
【問題発見力 必要性】	① 「Small Talk」を聞いて，本時の言語活動の目的や内容を知り，「自分の問い」を立てる。	1 〜 4			
【判断・形成力 自律性】	① 教室絵カードを使って「言ってQタイム」を行う。	2			
	② 「Word Adventure Time」を行う。 ・ 表現の想起 ・ チャンツ（全体） ・ タブレットPCで活動を選択する。	3			
【関係性 協働性】	① 「1-up Time」を設定し，表現のよさや課題を共有する。	2			
	② モデルスキットを聞いて，これまでに学習したコミュニケーションを豊かにするための表現を想起する。	3			
【表現力 有用性】	① できるようになったことや工夫したことを「My Goal カード」に記入する。	1 〜 4			